

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版
(仮称)堀川五条ホテル■使用評価マニュ: CASBEE-京都-建築(新築)2018年
欄に数値またはコメントを記入
■評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階		重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目							評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質											2.6
Q1 室内環境								0.40		-	2.6
1 音環境							3.4	0.15	3.2	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル							3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音							5.0	0.40	3.7	0.40	
1 開口部遮音性能						開口部の遮音性能:T-2以上	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						LL=45	3.0	-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						LH=50	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音							1.0	0.20	3.0	0.20	
2 溫熱環境							2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御							3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温							3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能							3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ノーン別制御性							3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御							1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式							1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境							2.0	0.25	2.7	1.00	2.4
3.1 昼光利用							1.8	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	●自然	A(全国版準用)				客室昼光率1.5%	1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口	●自然	B(推奨内容)					3.0	0.40	3.0	0.40	
3 昼光利用設備	●自然	B(推奨内容)					1.0	0.30	1.0	0.30	
3.2 グレア対策							1.0	1.00	1.0	1.00	
1 昼光制御	●自然	B(推奨内容)					3.0	0.15	3.0	0.15	
3.3 照度							3.0	0.25	3.0	0.25	
3.4 照明制御											
4 空気質環境							3.2	0.25	3.3	1.00	3.3
4.1 発生源対策							4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質							4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気							2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量	●自然	A(全国版準用)					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能							3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理							3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視							3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御							3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能							-	0.30	-	-	2.9
1 機能性							2.8	0.40	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性							3.0	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応							3.0	-	5.0	0.50	
3 パリアフリー計画	●大切	D(独自基準)					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性							3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)	●とも	C(独自加点)					3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							3.0	-	-	-	
3 内装計画	●自然	D(独自基準)					3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理							2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計							3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保							2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性							2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振							3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)							3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能							3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数							3.2	0.30	-	-	
1 転体材料の耐用年数	●大切	A(全国版準用)					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔							5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔							4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔							2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備			2.4	0.20	-	-	
	2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備			1.0	0.20	-	-	
				2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	2.6	1.00	2.7
	1 階高のゆとり			3.0	-	2.2	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	●大切 A(全国版準用)	壁長さ比率: 0.17	3.0	-	1.0	0.60	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	-	4.0	0.40	
	3.3 設備の更新性			3.0	-	3.0	0.50	
	1 空調配管の更新性	●大切 A(全国版準用)		3.0	1.00	-	-	
	2 給排水管の更新性	●大切 A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	●大切 A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
	4 通信配線の更新性	●大切 A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	●大切 A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
	6 パックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			●とも A'(全国版準用)	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			○ C(独自加点) D(独自基準)	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
LR 建築物の環境負荷低減性	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	●とも A'(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	●とも A(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
	LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
	1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	0.20	-	-	2.0
	2 自然エネルギー利用	●自然 A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	3.0
	3 設備システムの高効率化	●自然 C(独自加点) [BEI][BElm] = 0.75		4.0	0.50	-	-	4.0
	4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル	集合住宅の評価			-	0.30	-	-	3.2
	4.1 モニタリング			3.0	1.00	-	-	
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
	1.1 節水			3.0	0.50	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			-	0.30	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	●自然 A(全国版準用)	省水型機器を水栓器具全体の過半に使用	4.0	0.40	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.60	-	-	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.70	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.30	-	-	
	1 消火剤			-	0.30	-	-	
LR3 敷地外環境	2 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	●自然 A(全国版準用)		3.0	0.70	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
	2.1 材料使用量の削減	●大切 B(推奨内容) D(独自基準)		3.3	0.60	-	-	3.3
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			2.0	0.10	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切 B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	●大切 A'(全国版準用) B(推奨内容)	ビニール床材、壁タイル	4.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	●自然 B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	●大切 A(全国版準用)	ユニット部材(OAフロア)を利用	4.0	0.20	-	-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤			-	0.30	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
	1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率 80%以下	3.8	0.33	-	-	3.8
	2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮	2.2 溫熱環境悪化の改善	●とも A(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.1	0.33	-	-	3.1
	1 騒音			3.0	0.40	-	-	
	2 振動			3.0	1.00	-	-	
	3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制	1 風害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	2 砂塵の抑制			3.0	0.70	-	-	
	3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうらに漏れる光への対策		チェックリストの過半を満たす	4.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外観による反射光(グレア)への対策	●とも B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点项目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」ともに使う 「自然」:自然からつくる